

社会福祉法人
小笠原村社会福祉協議会

◇昭和51年7月15日 第1号発行◇

No. 169

がじゅまる

〒100-2101小笠原村父島字奥村
小笠原村地域福祉センター内
TEL 04998-2-2486 FAX 04998-2-3400
E-mail: chichijima@ogasawara-shakyo.jp
〒100-2211小笠原村母島字元地
母島村民会館内 母島事務局
TEL&FAX 04998-3-2188
E-mail: hahajima@ogasawara-shakyo.jp
HP <http://www.ogasawara-shakyo.jp>

◇ 社協は、みなさまの会費・ご寄付・村の補助金・委託金などで運営されています ◇

社協の会員になってください！

私たち社会福祉協議会（通称社協）は、すべての地方自治体に設置されている民間の地域福祉を推進するための団体です。

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」「地域で最期まで支える仕組みづくり」を担うことを使命としています。



社協の会費は、社協独自の地域福祉事業（高齢者、子育て、自立支援事業など）の自主財源となります。ぜひ会員になって、小笠原の地域福祉を支えてください！

◇年会費◇ 個人会員 1,000円
賛助会員 3,000円
団体会員 10,000円

6月頃より、社協協力員／職員がみなさまのご自宅や職場に伺わせていただきます。入会、会費の納入にご協力をよろしくお願いいたします。

事務所でも随時受付けております。

赤い羽根共同募金の報告

みなさまのご厚意とご協力、ありがとうございました。

今年度の共同募金会の助成金で、母島用にワイヤレスアンブを購入予定です。さまざまな行事に利用していただきたいと思います！



募金総額：392,935円

【内訳】父島	戸別募金	87,368円
	直納募金	133,224円
	職域募金	76,891円
合計		297,483円
母島	戸別募金	4,000円
	直納募金	81,935円
	職域募金	9,517円
合計		95,452円

【募金活動期間】

令和4年10月1日から12月31日まで

令和5年度 社協の事業計画・予算

今年度の社協の事業計画・予算が、3月の理事会・評議員会で承認されました。

予算総額は 1億3,987万4千円 です

◆基本方針◆

地域福祉を推進する民間福祉活動の核として、

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」

「地域で『最期』まで支える仕組みづくり」を推進してまいります。

◆重点目標◆

- 1、総合相談業務を強化し、地域のニーズを発掘して地域貢献事業の創出につなげる。
- 2、子育てにやさしい地域づくりを目指す。
- 3、高齢者・障がい児者の日常生活支援および就労支援に努める。

◆主な事業◆

◇法人運営事業◇ 予算額46,857千円

- ・理事会・評議員会の開催
- ・職員の資質の向上のための研修
- ・広報「がじゅまる」の発行
- ・島しょ社協との連携

◇ボランティア活動推進◇

予算額281千円

- ・ボランティアセンターの運営
(ロッカー・スペース・物品の貸出)
- ・登録ボランティア団体・個人の活動支援
- ・ボランティア保険・行事保険の事務取扱

◇在宅福祉事業◇ 予算額8,390千円

- ・食事サービス・ほがらかサービスの運営
- ・介護予防体操教室の実施
- ・ヘルスアップ教室への協力

◇たすけあい貸付事業◇ 予算額102千円

他の貸付を利用するのが困難な方に、資金の貸付を行い、経済的自立と生活の安定を支援します。

◇地域福祉事業◇ 予算額13,827千円

①地域福祉活動

- ・福祉団体に助成金の交付
- ・福祉教育への協力
- ・福祉バザーの開催
- ・郷土文化の伝承
- ・戦没者追悼式典の開催
- ・夏休みラジオ体操
- ・赤い羽根共同募金活動

②子ども家庭福祉

- ・行事の開催（子どもの日、他）
- ・学童保育の運営（父島）
- ・未就学児一時預かり事業の運営（父島）
- ・チャイルドシートの貸出
- ・子育て支援（相談援助）

③高齢者関係

- ・行事の開催（敬老の日）
- ・健康スポーツ促進事業（内地の大会に参加助成）
- ・いきいきサロンの運営
- ・シルバー人材センター設立に向けた調査研究

④自立支援事業

- ・高齢者・障がい者の相談援助、就労支援
- ・バザーコーナー・船待古本屋の運営
- ・居場所づくり事業の運営

◇生活福祉資金貸付事業◇

予算額2,683千円

資金を必要とする世帯に貸付を行い、経済的自立と生活の安定を支援します。

◇地域福祉権利擁護事業◇

予算額3,319千円

支援が必要な方に福祉サービス利用援助を基本に金銭管理サービス、書類の預かりサービスを行います。

◇ちびっこクラブ◇ 予算額16,738千円

3～4歳児を対象とした認可外保育所の運営

◇助葬事業◇

予算額3,367千円

葬儀のコーディネートと物品の貸出・払出を行います。

◇施設管理◇ 予算額44,580千円

- ①母島村民会館管理（指定管理）
- ②奥村運動場管理（指定管理）
- ③地域福祉センター管理（指定管理）
- ④大神山公園管理（トイレ清掃と巡回）
- ⑤父島火葬場管理（清掃と草刈）
- ⑥奥村村有施設管理
（保育園とふらっとハウスの草刈）
- ⑦奥村・扇浦交流センター管理（清掃と草刈）



令和5年4月 職員体制

局長 斎藤 実

次長 川本 真裕

主査 松林 久美子

主任 橋本 翔太

主事 佐々木 里美

主事 土 佳孝

主事 永井 麻美

母島事務局

主任 飯酒盃 琢一

主事 杉村 由紀

ちびっこクラブ

主査 上瀧 有一

主事 菊池 徳乃

主事 福本ひろみ（育休中）



どうぞよろしくお願ひいたします！

ご不要な食材をご寄付ください！

ご家庭で眠っている不要の食材を募集しています。社協の実施する事業で、有効活用させていただきます！

*インスタントコーヒー、調味料、乾麺、レトルト、乾物など

（賞味期限内、未開封のものに限ります）

パート職員を募集します

対象：65歳以上高齢者、人との関わりが苦手な方、引きこもりがちの方

職種：受付、草刈、清掃、公園巡回、等

時給：1,080円～1,260円

ご家族からのご相談も受け付けます。

働き方は、相談しながら決めましょう。

お問合せ先 電話 父島2-2486 母島3-2188

【父島】福祉バザー報告

令和2年初頭に新型コロナウイルスが急激に猛威を振るい始めてから・・・

3年間、さまざまな行事が感染予防のために休止となってしまいました。

今、感染の恐れがなくなったわけではないけれど、「ウィズコロナ」「コロナと共に」の日常生活が始まろうとしています。

今年の福祉バザーは、3/21（火祝）にフリーマーケット、古本販売、衣類・物品・家具販売を行いました！4年振りのこ

とで、福祉バザーを知らない方も多いのでは、と心配しましたが、みなさん明るい笑顔で来場していただき、開催者としてうれしく思いました。売上57,745円と寄付金1,200円は、福祉の向上のために活用させていただきます。

また「トルコ・シリア地震のための支援」募金箱を設置しまして、日本赤十字社に2,000円の指定寄付を行いました。

みなさまのやさしいお気持ちに、感謝いたします。

【母島】福祉バザー報告

令和5年3月12日（日）、母島村民会館体育室にて4年振りに地域福祉支援バザーが行われました。

引っ越し準備や送別会、他各種イベントと重なりやすい時期での開催となった為、人が来てくれるかどうかとても心配でしたが、多くの方々にご来場いただき、とても嬉しく感じました。

また、会場の準備や終了後の撤収作業には、数多くのボランティアの方々に御協力

頂き、丸3年分の雑然としていた在庫品が驚く程きれいに整頓されました。

日頃より、多忙の中でも何かと力になろうとして下さる島の皆様、本当に有り難うございます。今回の売上17,780円および寄付金10,200円は、島の様々な福祉活動にて活用させていただきます。

来年度も多くの方々にとって、より楽しい福祉バザーを開催したいと思えます。食品の販売も再開出来ると良いですね。

福祉団体助成金の募集

社協では、福祉の向上を目的に活動されている村内の団体に助成金を交付しています。希望される団体は、ご相談ください。

対象：住民参加と地域福祉活動の促進を推進する団体

金額：上限2万円

お心をお寄せいただいた方々

【令和5年1月～3月】

（敬称略・順不同）

会社創立45周年に際し、社協のために
 (株)福祉会計サービスセンター 45,000円
 ちびっこクラブのために
 リサイクルの会 30,000円

故佐々木政治様ご遺族のご意向により
 地域福祉のために 100,000円



社協への寄付は税制上の優遇措置が受けられます